

R7.11.19 第3回検討会で中高連役員からいただいたご意見

出席者：和田理事長(灘)、八代副理事長(神戸国際大附)、柳副理事長(蒼開)、井上常任理事(神戸弘陵)、河野常任理事(兵庫大附須磨ノ浦)、森田理事(神戸海星女子学院)、村野理事(彩星工科)、武井理事(育英)、熊見理事(神戸星城)、摺河理事(姫路女学院)、藤村理事(淳心学院) 計11名

①私立高校の魅力向上

ご意見

特色教育	・STEAM教育やSDG's グローカル人材育成もある。 <u>私学の合同探究発表会をオープンで開催し</u> 、多くの人に見てもらうことも有用。
不登校	・不登校支援も私学の強み。現在県の支援は補習が対象だが、 <u>別室登校やオンライン授業等の取組についても支援してほしい</u> 。
グローバル	<ul style="list-style-type: none"> 留学生受け入れ：外国人高度人材の育成は地域の課題である。日本のアドバンテージがあるうちに<u>グローバル人材育成の仕組みづくりをしておくべき</u>。留学生の寮や宿舎、ホームステイ等にも<u>支援してほしい</u> 留学支援：円安により留学に行くのに費用が高くなっているので、<u>留学費用を支援してほしい</u>
高大連携	・兵庫の私立高校も私立大学も魅力がある。 <u>高大連携の機運は高まっている</u> ので、支援してほしい。
地域連携	・地元に愛される学校になるべき。 <u>地域に開かれた公開講座等の実施や講堂等の地域開放をしていく</u> ことも有用。
人材確保	<ul style="list-style-type: none"> 魅力向上のためにいい人材が必要だが、中小企業だけでなく学校法人も経営が苦しく、<u>教員の給与・待遇を上げたくてもできない</u>。 中高連で<u>教育実習生等の学生人材バンク</u>をつくることも有用。
経常費	<ul style="list-style-type: none"> <u>教職員の待遇を上げなければ人材確保ができない</u>。学校の努力だけでは限界があるので、<u>経常費増額をお願いしたい</u>。 県立高校への支援を手厚くしていると聞くので、<u>私立の体育館の空調や老朽施設改修、ICTへの支援</u>もお願いしたい。 空調を入れても施設が古く、効きが悪いため、<u>イニシャルコストが嵩む</u>。経常費で支援してほしい。 国の無償化により浮く県の授業料軽減補助分の予算を私学支援へ使ってほしい。交付税が減額されなければその分は少なくとも私学支援にあててほしい <u>小中の経常費は国の措置額を下回っている</u>。県から措置額満額が補助されていないならば、国が予算を削るという話もあるので、<u>措置額満額出してほしい</u>。
情報発信	・中高連の学校説明会へ支援してもらっているが、 <u>広報活動が重要</u> になっていくので、支援を拡充いただきたい。
生徒保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <u>生徒保護者向けの支援をもう少し頑張ってほしい</u>。 国の無償化支援では、現行の46万円から3000円下がってしまうので、<u>その部分の手当をお願いしたい</u>。

②その他

ご意見

公私比率	・私立は公教育の一翼を担っている。このままでは生徒数の減少で私立の翼が折れてしまう。 <u>公私比率の見直しをお願いしたい</u> 。
公教育のビジョン 高校の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 公立と私立の両翼があっての公教育だと思っている。<u>兵庫の教育を中長期的にどうするか検討し示す</u>時期が来ているのではないか。 私立への移行を進めている府県もある。<u>公立・私立のあり方を地域ごとに検討する必要がある</u>のではないか。 公立高校の統廃合のペースが遅いのではないか。
高校無償化	・国の話だが、財源が決まっておらず、確約がない。無償化についてオープンスクールや保護者からの問い合わせ対応に困っている。
私学の経営	・少子化により生徒数が減少し、 <u>私学の経営は厳しさを増している</u> 。判断を誤ればいつ潰れてもおかしくない。
広域通信制	・広域通信制の基準が生徒80人に教員1人となっており、個別最適な学びが提供できていると思えない。しっかり教育ができるよう規制強化を国に働きかけてほしい。